

まえがき

本研究資料「肉類に関するサプライチェーンの分析 ―国産牛肉、豚肉、鶏肉を比較して―」は、農林水産政策研究所のプロジェクト研究「消費者ニーズの変化に対応した強固な食料サプライチェーンの構築に関する研究」（平成 22 年度～平成 24 年度実施）の研究成果の一部として刊行するものである。

このプロジェクト研究においては、我が国の食料消費が、市場の成熟化、人口減少・少子高齢化、変動する国際需給等の状況下で、消費者ニーズの多様化、消費量総量の減少、食の外部化の一層の進展が予想される中、また、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により、食料の安定供給の確保に関心が集まる中であって、消費者ニーズに対応した安定性の高いサプライチェーンの構築に資するための各般の調査・分析を実施した。

具体的には、

- ① サプライチェーンの不安定要因等に関する分析
- ② 6 次産業化に関する分析
- ③ 諸外国における地理的表示の保護制度の運用実態等に関する分析

の 3 つのテーマに取り組んだ。

このうち「① サプライチェーンの不安定要因等に関する分析」においては、高齢化の進展の下での食料品アクセス状況及びアクセス状況の改善のあり方に関する分析、東日本大震災を踏まえた強固なサプライチェーンを構築するために、大震災が食品産業に及ぼした影響と復旧・復興の状況の分析、を行ったほか、麦類、野菜、肉類等の品目を対象に、サプライチェーンの現状を可能な限り明らかにするとともに、消費者ニーズの多様化等に対応した国産農産物の供給のための課題を明らかにすることに取り組んだ。

本資料は、品目別分析のうちの国産肉類に関して、牛肉、豚肉、鶏肉を比較し、各食肉に関する近年の需給構造の変化と生産・流通の対応状況および課題について整理したものであり、具体的には、

- ① 家計、加工品、中食・外食の 3 つの需要に対する国産の対応状況と課題
- ② 輸入食肉に対抗する国産食肉の取組の一つであるブランド化の状況と課題
- ③ 流通経路（牛肉のみ）の実態と課題
- ④ 小売価格に占める生産者、流通業者、小売業者のシェアの動向

を整理した。

また、追加的に、食肉のサプライチェーンの抱えるリスクを検討する素材として、「東日本大震災の及ぼした影響」、「欧州の食肉偽装事件」に関する情報を整理したものを添付した。

言うまでもなく食料自給率の向上は農政の最も重要な課題の一つとなっており、国産農産物の需要拡大に向けたサプライチェーンの構築が期待されている。本資料がこうした取組にあたって活用されれば幸いである。最後に、調査に応じてくださった関係機関の方々をはじめとして本資料の作成にあたり御協力いただいた方々に対し、記して厚く感謝申し上げます。

平成 25 年 7 月

農林水産政策研究所
食料サプライチェーンプロジェクト研究
サプライチェーンの不安定要因等に関する分析チーム